

研究指導の概要

■ ヒューマン・ケア科学学位プログラム

【課程：3年制博士課程】

学年	学期 モジュール	研究内容及び指導方法等
1 年 次	A	<ul style="list-style-type: none">・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通し、研究テーマ決定と研究構想を確定する。・コンピテンス評価表を作成して提出する（4月末）。・学修指導記録（1年次No.1）を作成して提出する（6月末）。・以下の授業を履修する。 「ヒューマン・ケア科学特論Ⅰ」
	B	<p>対人援助の基本として、対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、発達臨床心理学、臨床心理学の基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p> <p>「ヒューマン・ケア科学特論Ⅱ」</p> <p>対人援助の基本として、対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、社会精神保健学、発達臨床心理学の基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p> <p>「パブリックヘルス特論Ⅰ」</p>
	C	<p>健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、国際保健学、健康危機管理学、保健医療政策学の基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p> <p>「ヒューマン・ケア科学演習」（通年）</p> <p>ヒューマン・ケア科学の各研究分野（共生教育学、高齢者ケアリング学、社会精神保健学、臨床心理学、発達臨床心理学、ストレスマネジメント）における多様な研究テーマやトピックに関する文献購読や発表討論を通して、最新理論や研究手法を学ぶ。</p>

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通して研究を進める。 ・学修指導記録（1年次No.2）を作成して提出する（10月末）。 ・コンピテンス評価表を作成して提出する（3月末）。 ・以下の授業を履修する。
		B	<p>「ヒューマン・ケア科学特論Ⅲ」</p> <p>対人援助の基本として、対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、ストレスマネジメント、高齢者ケアリング学、共生教育学の基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p> <p>「パブリックヘルス特論Ⅱ」</p> <p>健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、健康社会学、生涯健康学、運動・栄養学の基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p>
		C	<p>「パブリックヘルス特論Ⅲ」</p> <p>健康問題の要因とその解決・支援方法、それに係る社会的制度等について、生活環境学、ヘルスサービスリサーチの基礎的な知識および研究方法を学ぶ。</p> <p>「ヒューマン・ケア科学演習」（通年）</p> <p>春学期と同様</p>
2 年 次	春	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通して研究を進める。 ・学修指導記録（2年次No.1、No.2）を作成して提出する（4月末、6月末）。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の授業を履修する。 <p>「ヒューマン・ケア科学特別研究」（通年）</p>
		C	<p>ヒューマン・ケア科学の各研究分野における具体的研究課題の立案・実施から博士論文の作成までを学習する。</p>
2 年 次	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通して研究を進める。 ・学修指導記録（2年次No.3）を作成して提出する（10月末）。 ・中間審査会の申請をする（中間審査願と研究計画書・研究倫理申請書および倫理審査結果通知書の写しを提出）（9月下旬。ここで申請しない者は3年次5月までに申請）。
		B	<ul style="list-style-type: none"> ・中間審査会を実施する（11月。ここで実施しない者は3年次6月までに実施）。研究の進捗状況に基づき予備審査会への進行の審査を受ける。また、主査・副査の評価に基づいて、研究内容の改善に向けてさらに研究を深める。
		C	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピテンス評価表を作成して提出（3月末） ・以下の授業を履修する。 <p>「ヒューマン・ケア科学特別研究」（通年）</p> <p>春学期と同様</p>

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
	春	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通して研究を進める。 ・中間審査会を申請・実施する（2年次に実施していない者のみ）。
B			
C			
3 年 次	秋	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導教員・副指導教員とのディスカッション等を通して研究を進める。 ・予備審査会の申請をする（仮製本した論文を提出）（9月下旬）。申請のためには、専門基礎科目 6 単位（ヒューマン・ケア科学特論 3 単位、パブリックヘルス特論 3 単位）、専門科目 6 単位（各学位プログラムの演習 3 単位、特別研究 3 単位）等の単位取得（計12 単位以上）および国際・国内学術誌における原著論文 1 つ以上の受理あるいは掲載が必要となる。 ・予備審査会を実施する（原則11月）。発表および質疑応答で、学位論文審査会への進行の審査を受ける。また、主査・副査の評価に基づいて、学位論文を改善する。 ・学位論文審査会の申請をする（学位論文審査願、学位論文、論文概要、論文目録、履歴書、インターネット公表に関する申出書、論文剽窃チェック実施確認書、コンピテンス評価表を提出）（11月下旬）。 ・学位論文審査会を実施する（原則12月～1月）。発表および質疑応答で、学位論文の審査を受ける。 ・博士論文成果発表会にて研究成果を発表する（2月）。
		B	
		C	